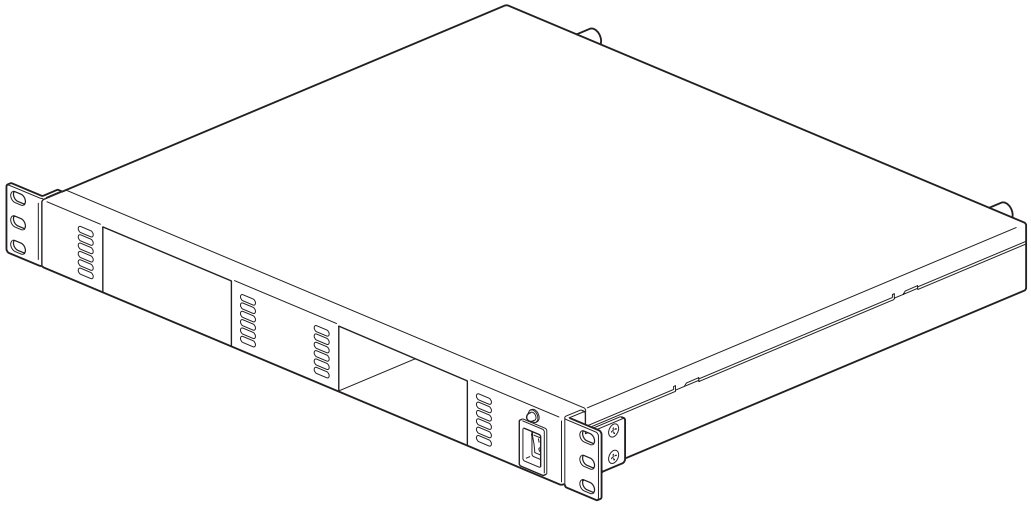
NEC

N8141-40
デバイス増設ユニット

ユーザーズガイド



この度は、本製品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。本製品（N8141-40 デバイス増設ユニット）の使用につきましては、本ユーザーズガイドおよび、NEC Express サーバに添付のユーザーズガイドを参照の上ご使用願います。また、ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。本ユーザーズガイドをお読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

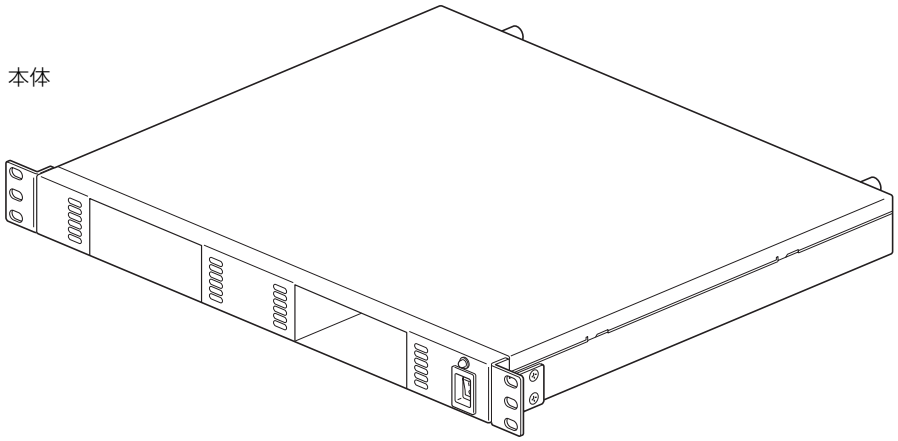
2-898-897-**01**(1)

N8141-40 デバイス増設ユニット構成品一覧表

箱の中身を確認してください

このたびは、N8141-40 デバイス増設ユニットをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。梱包箱を開けたら、まず添付品がそろっているかどうか、このリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

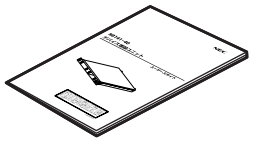
本体



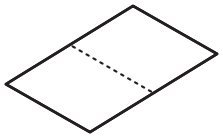
* イラストはラック取り付け金具を取り付けた後のものです。

添付品箱の中身

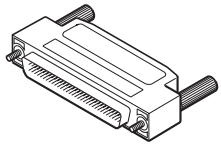
ユーザーズガイド（本書）



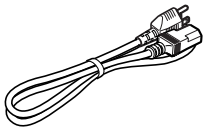
保証書



SCSI ターミネータ（2 個）



電源ケーブル（3 m）（1 本）



ラック取り付け金具（左右各 1 個）

ラック取り付け金具取り付けネジ（10 個（予備 2 個含む））

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

JIS C 61000-3-2 適合品
本製品は、高調波電流規格 JIS C61000-3-2 に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることをお勧めします。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）ＮＥＣ の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
（4）本書は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
（5）運用した結果の影響については（4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠使用上のご注意　～必ずお読みください～

デバイス増設ユニットを安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全に関わる表示について

デバイス増設ユニットを安全にお使い頂くために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。本書には、ご使用時にどこが危険であるか、指示を守らないとどのような危険にあうか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

本書では、危険の程度を表す用語として、「警告」と「注意」を使用しています。それぞれの用語は、次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠警告	**人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示しています。**
⚠注意	**火傷やケガなどを負う恐れや、物理的損害を負う恐れがあることを示しています。**

危険に対する注意・表示には次の３種類の記号を使用しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

△	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	（例） （感電注意）
⃠	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	（例） （分解禁止）
●	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	（例） （プラグを抜け）

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。
	発煙または発火の恐れがあることを示します。
	高温による損害を負う恐れがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。
	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。

行為の強制

	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

安全上のご注意

デバイス増設ユニットを安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全に関わる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

⚠警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御を目的とした使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産被害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。

指定以外の場所で使用しない

本製品は 13U オフィスラックに取り付けて使用します。本製品を取り付けるラックを設置環境に適していない場所は設置しないでください。
本製品やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルを参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。

規格以外のラックで使用しない

本製品は 13U オフィスラックに取り付けて使用します。13U オフィスラック以外に取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因になることがあります。本製品で使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本製品の POWER スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔やハードディスクドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

⚠注意

装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

⚠警告

ぬれた手で電源コードを持たない

ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠注意

添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

指定以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本製品の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

中途半端に差し込まない

電源コードは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の電源コードを使わない

本製品に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを束ねない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステープラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない（損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください）。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

⚠ 注意

一人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は 3 人以上で行ってください。詳細については、13U オフィスラックのユーザーズガイドを参照してください。

荷重が集中してしまうような設置はしない

ラック、および取り付けた装置の重量が一点に集中しないようにしてください。

ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

定格電源を越える配線をしない

やけどや火災、装置の破損を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を越えないようにしてください。電気設備の配線とインストール用件に関しては、電源工事を行った業者、または管轄の電力会社にお問い合わせください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

⚠ 注意

指定以外の場所に設置しない

本製品を次に示すような場所やユーザーズガイドで指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- **ほこりの多い場所。**
- **給湯器のそばなど湿気の多い場所。**
- **直射日光が当たる場所。**
- **不安定な場所。**

ファンや通気孔をふさがない

本製品の背面にあるファンや前面の通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け／取り外しは本体装置の電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NEC が指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- **ケーブルを踏まない。**
- **ケーブルの上にものを載せない。**
- **ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。**
- **破損したケーブルを使用しない。**
- **破損したケーブルコネクタを使用しない。**
- **ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。**

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。

また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もしもご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

⚠警告

自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造をおこなったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

プラグを抜かずに取り扱わない

お手入れや内蔵テープドライブの取り付け、取り外しは、本製品の電源ユニットをオフにして、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源ユニットをオフにしても、電源コードを接続したまま装置ないの部品やコネクタに触れると感電したりショートによる火災を起こしたりするおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

⚠注意

高温注意

本製品の電源ユニットをオフにした直後は、テープドライブなどをはじめ装置内部の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け、取り外しを行ってください。

中途半端に取り付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブル、内蔵テープドライブは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良をお越し、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

本製品の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります（装置内蔵のファンモジュール、電源ユニット）。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

運用中の注意事項

⚠ 注意

雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを引き抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。

近くで携帯電話や ＰＨＳ、ポケットベルを使わない

本製品のそばでは携帯電話や ＰＨＳ、ポケットベルの電源を OFF にしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

ペットを近づけない

本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因になります。

取り扱い上のご注意～装置を正しく動作させるために～

デバイス増設ユニットを正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると装置の誤動作や故障の原因となります。

- 本製品のケーブルの接続／取り外しは Express サーバの電源が OFF になっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源の OFF は、実装された内蔵デバイスのアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本製品の電源を一度 OFF にした後、再び ON にするときは 30 秒以上経過してからにしてください。
- 本製品を移動する前に電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- オプションは本製品に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本製品に取り付け／接続できても正常に動作しないばかりか、装置本体が故障することがあります。
- オプションは NEC の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のデバイスには本製品に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
- 本製品の電源はサーバと連動していません。必ず本製品の電源を入れた後にサーバの電源を入れてください。
- 本製品の電源は、システムのシャットダウンが完了したのを確認した後に切ってください。

ヒント

保守サービスについて

Express サーバの保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。Express サーバをいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

製品の譲渡と廃棄について

第三者への譲渡について

本製品または本製品に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

本製品本体について
本製品を第三者へ譲渡（または売却）する場合は、本ユーザーズガイドを一緒にお渡しください。

その他の付属品について
その他の付属品もセットアップするときなどに必要となりますので、一緒にお渡しください。

重要

テープ内のデータについて
使用していたテープに保存されている大切なデータ（例えば経営情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないように、お客様の責任において確実に処分しておいてください。
このようなトラブルを回避するために使用しているバックアップソフトでデータを完全消去し、確実にデータを処分することを強くおすすめします。データの消去についての詳細はバックアップソフトのユーザーズガイドをご参照ください。
なお、データの処分をしないまま譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

消耗品・製品の廃棄について

本製品、カートリッジおよび、フィルタの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

製品寿命について

本製品の製品寿命は 5 年です。

保証について

本製品には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無料修理いたします。詳しくは『保証書』をご覧ください。
保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りの NEC または NEC の保守サービス会社に連絡してください。

本製品に対し保守契約を結ばれたお客様へ
本製品の保守停止時期は、製造打ち切り後 5 年になります。

目次

使用上のご注意　～必ずお読みください～ 4

第１章　デバイス増設ユニットの概要

第２章　各部の名称と機能

前面 16
後面 16
内部 17

第３章　テープドライブの取り付け

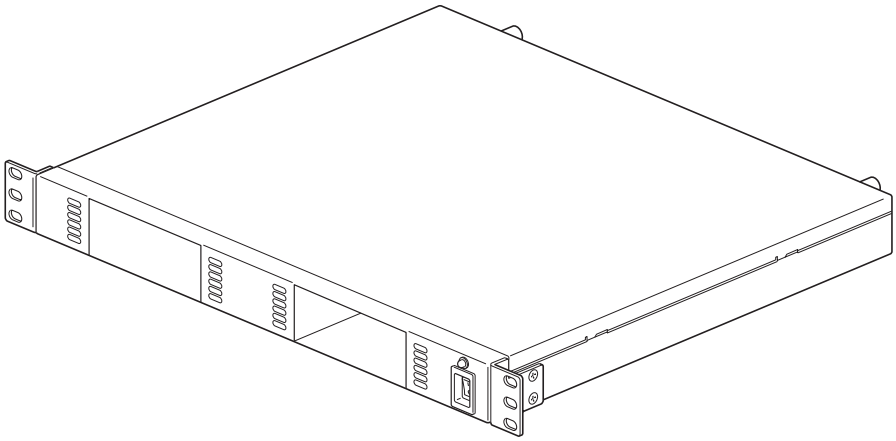
テープドライブの取り付け 18
空きベイカバーの取り外し 20
ラックに設置する 21
取り付け方法 21
本体装置に接続する 21

第４章　仕様

主な仕様 23
環境条件 23
電源・その他 23

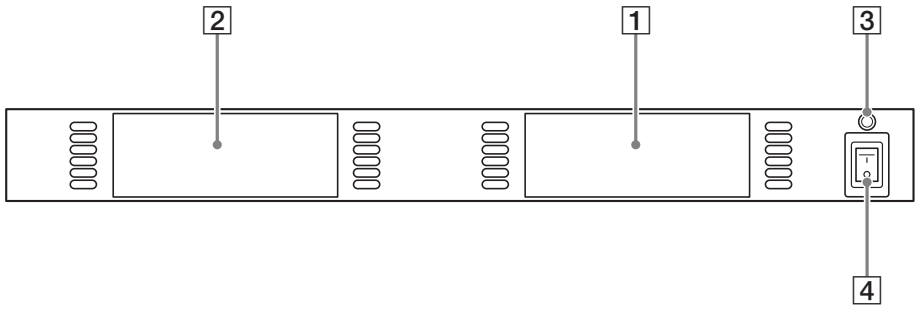
第 1 章 デバイス増設ユニットの概要

この章では、デバイス増設ユニットの概要について説明します。
デバイス増設ユニットは、Express サーバに接続するオプションで、磁気テープドライブなどのバックアップデバイス（5.25 インチデバイス）を取り付けるスロットを 2 つ用意しています。



第2章 各部の名称と機能

前面



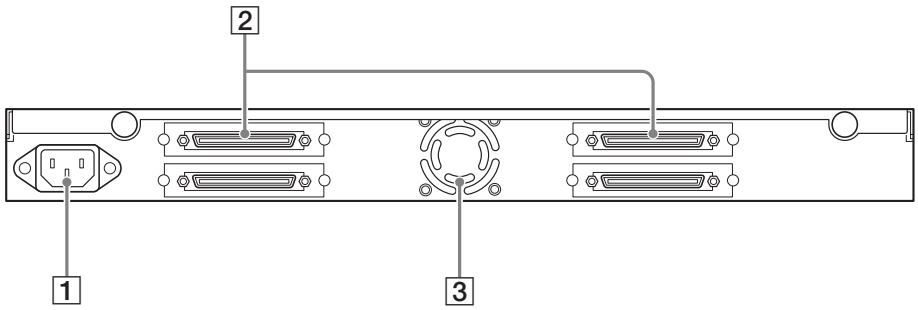
1 テープドライブベイ 1

2 テープドライブベイ 2

3 電源 LED

4 電源スイッチ

後面

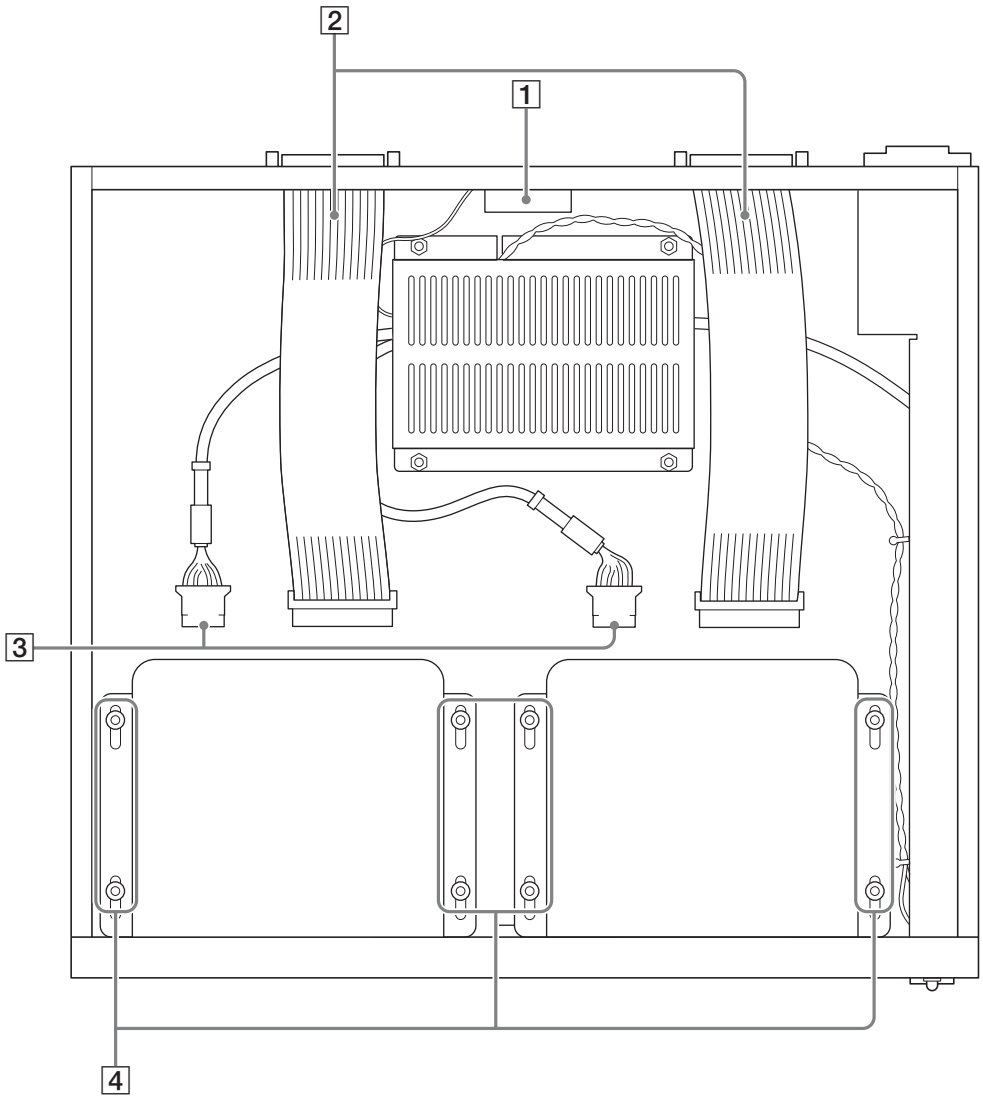


1 電源コネクタ

2 LVD/SE Wide SCSI コネクタ

3 冷却用ファン

内部



1 冷却用ファン

2 内部 LVD/SE Wide SCSI ケーブル（× 2 本）

3 DC ケーブル

4 ドライブブラケット取り付けネジ穴

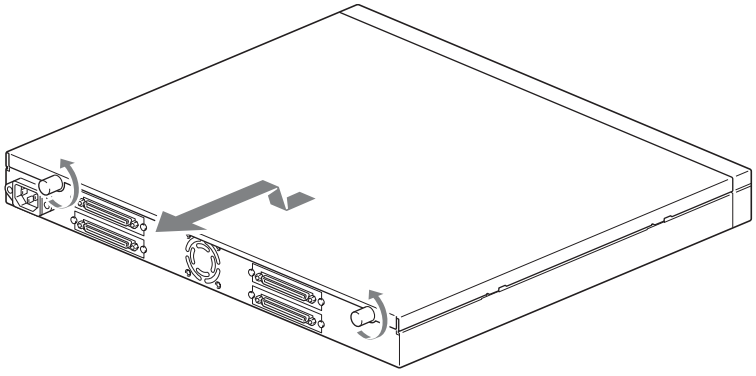
第3章 テープドライブの取り付け

テープドライブの取り付け

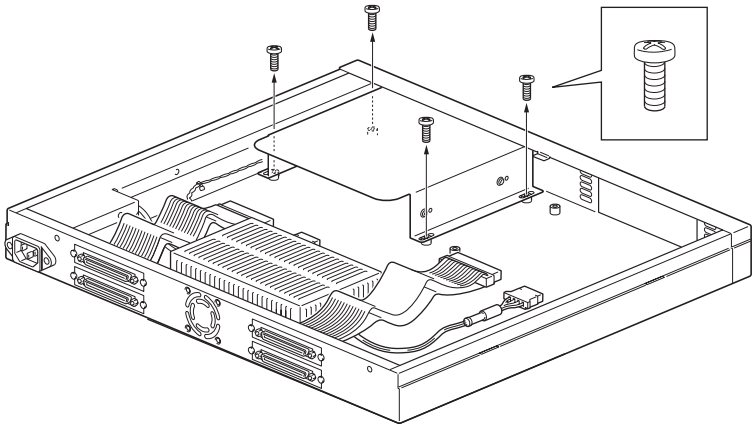
テープドライブの取り付けを行うには、以下の手順に従ってください。

1 デバイス増設ユニットの電源を切り、電源プラグを抜く。

2 デバイス増設ユニットの後面のネジ 2 か所を外し、天板を開ける。



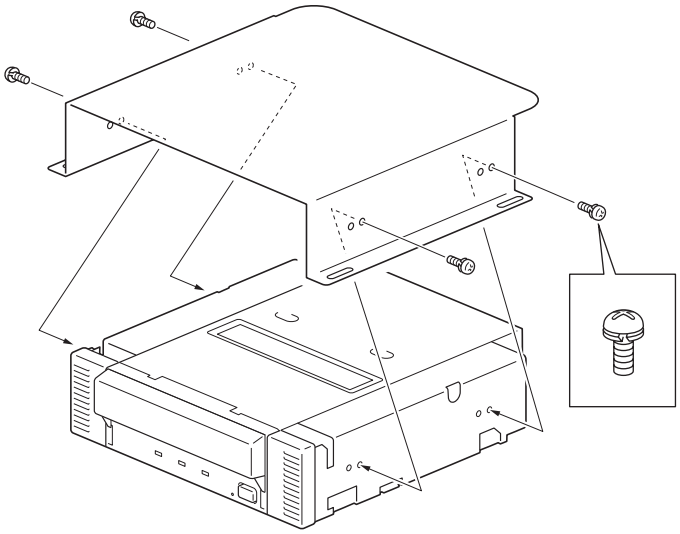
3 ドライブブラケットを取り外す。



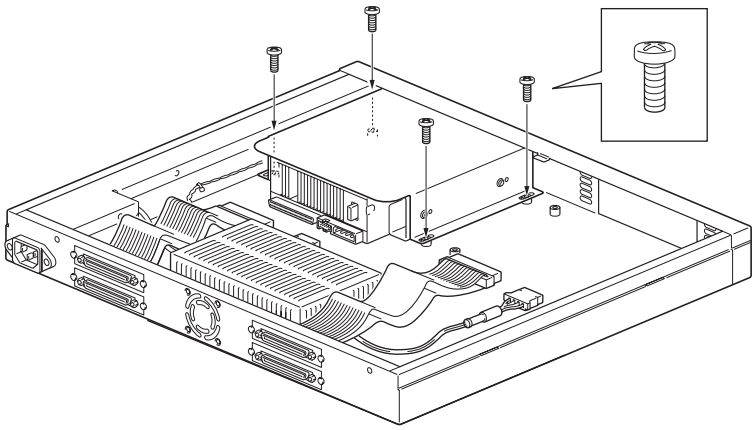
4 テープドライブに添付されている取り付けネジを使い、ドライブブラケットをテープドライブに取り付ける。

ご注意

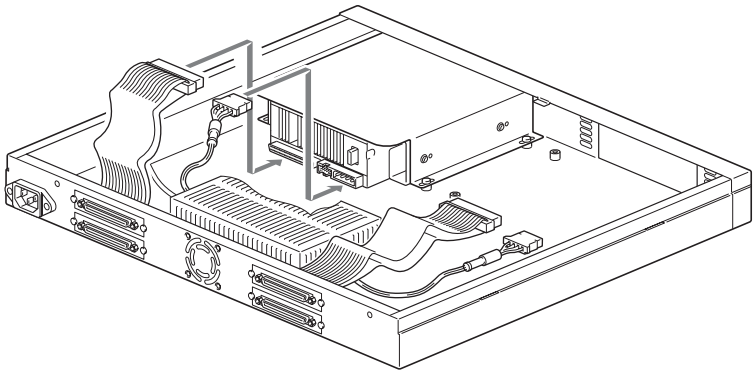
ドライブ取り付け後には、SCSI ID を変更できません。この段階でドライブ背面の SCSI ジャンパピンにて SCSI ID を設定してください。設定方法は各ドライブのユーザーズガイドを参照ください。



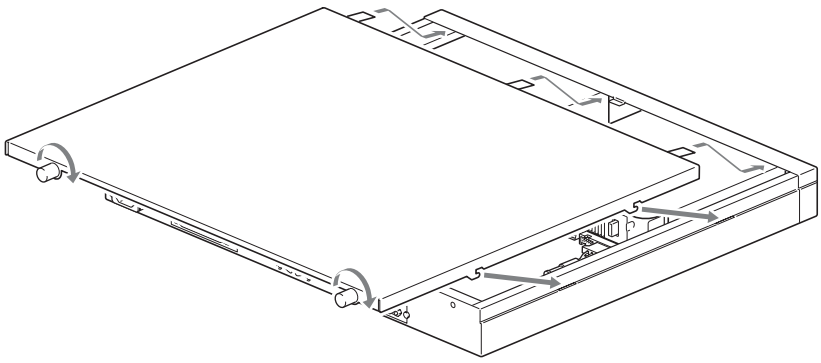
5 ドライブブラケットを取り付けたテープドライブを、デバイス増設ユニットの空いているドライブベイに挿入してから、ブラケット取り付けネジでドライブブラケット取り付けネジ穴に取り付ける。



6 SCSI ケーブル、電源ケーブルをテープドライブに接続する。



7 天板を閉める。

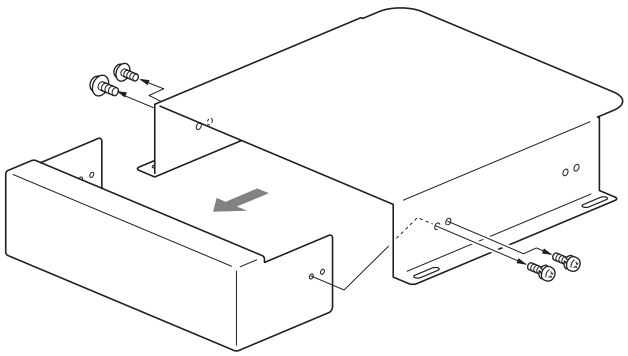


空きベイカバーの取り外し

テープドライブベイの一方は、空きベイカバー付きのドライブブラケットが取り付けられた状態になっています。
デバイス増設ユニットにもう 1 台ドライブを搭載する場合は、空きベイカバーをドライブ取り付け金具から取り外してください。

1 本製品から、空きベイカバー付きのドライブブラケットを取り外す。

2 空きベイカバーを固定しているネジを取り外す。



ラックに設置する

取り付け方法

取り付け方法は、別紙を参照してください。

本体装置に接続する

⚠ 注意

電源が ON のまま取り付け・取り外しをしない

本体装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続している電源コードを AC コンセントから抜いてください。電源コードが AC コンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

SCSI ケーブルで、本製品と本体装置を接続します。ここでは、一般的な接続手順を説明します。接続には、弊社指定の SCSI ケーブルをお使いください。本製品側は 68 ピンハーフピッチのコネクタを使用しています。

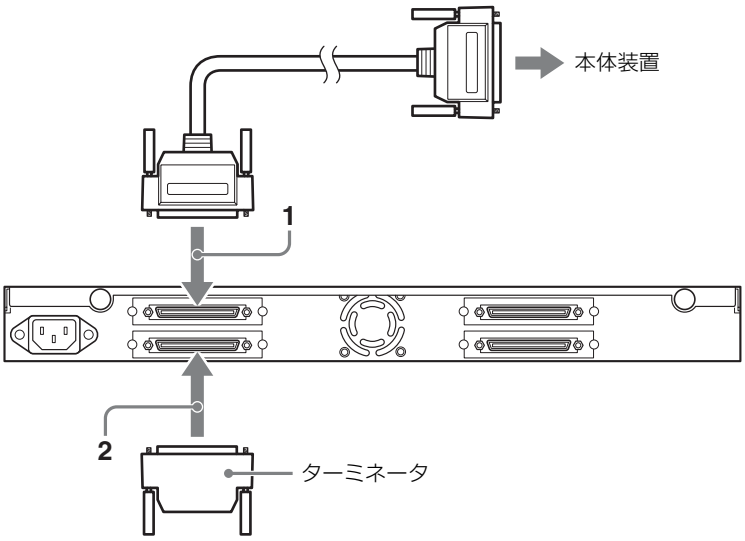
ご注意

- Wide SCSI ケーブルを接続するときは、本製品、本体装置およびすべての接続機器の電源を切ってください。
- 必ず付属のターミネータを取り付けてください。

1 本体装置と本製品の電源が切られていることを確認する。

2 図のようにして、SCSI ケーブルとターミネータを取り付ける。

1 指定の SCSI ケーブルを使って、本製品と本体装置を接続します。
SCSI ケーブルは、次の図のように接続します。
2 次の図のように、コネクタに、付属のターミネータを取り付けます。



重要

- 本製品の電源はサーバの電源と連動していません。必ず本製品の電源を入れた後にサーバの電源を入れてください。
- 本製品の電源は、システムのシャットダウンが完了したのを確認した後に切ってください。
- 本製品はドライブベイ 1 とドライブベイ 2 をつなぐディジーチェーン接続はできません。ドライブベイ 1 と 2 の両方にドライブを搭載する場合は、それぞれに SCSI コントローラが必要となります。

第4章 仕様

主な仕様

環境条件

使用時
温度： 10°C ～ 35°C（ΔT<10°C/h）
湿度： 20% ～ 80%（結露のないこと）
非動作時
温度： –40°C ～ 60°C（ΔT<20°C/h）
湿度： 10% ～ 80%（ΔRH<30%/h）

電源・その他

電源定格	AC 100 V – 250 V 50 ／ 60 Hz　85 W
外形寸法	425 mm × 44.45 mm × 380 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部を含まず）
質量	4.7 kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

N8141-40
デバイス増設ユニットユーザーズガイド
2006 年 11 月 初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL(03)3454-1111（大代表）

乱丁・落丁はお取り替えいたします。
© NEC Corporation 2006
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
ユーザーズガイドの内容は予告なく変更することがあります。

このマニュアルは再生紙を使用しています。